青年よ師を無数に択べ

北大路魯山人

3

れてゐるからである。之等の一人二人を師と仰ぎ只管教へを乞ふ 先輩はあつても其の人が、何等かに偏し、且つ其道の一つに囚は 美術面に於て、現存者から師を仰ぐことはなかなかむつかしい。

とせば、必ず後日悔を遺さねばならない。

野はせばまつてゆく。謂ふ所の自由と自然なるものを見捨てねば ならない羽目に堕ち入る。これで悔を遺さぬ者ありとせば、それ 師事したとせよ、何れを択んだとしても、真の自由は失なはれ視 例へば、画青年が梅原、安井を択ぶとせよ、又、古径、 靫彦に

は元々禄でもない徒輩である。私は敢て美術青年に警告してみた

君等が師と仰ぎ師事せんとするならば、少くとも先づ二百年、

青年よ師を無数に択べ 如 眼をくれて、あれこれ調法しやうとか、金をかけるなどは、 つたかに注目せよ。 年代の人間は、 三百年の昔の美術に注目せよ。五百年、千年、二千年、 何に道理にそむくことなく、素直に美しいものを造り遺してい つと先の年代に成る幾多の作品に眼を移して視よ。そしてその 天地を貫ぬく自然の美妙を如何に観たか。そして 無理やりに生き続けてゐる今時の先生などに 否もつと

すべきである。更に五百年、千年、二千年、否もつともつとさか のぼつた所に注意するが可い。 の生き方に眼が覚めてゐないこととなる。 作陶に例をとつてみるならば、無釉時代の技能と精神とに着目 注目すべき作家が画の世界にも、

自分

彫刻、

工芸の世界にも数々遺されてゐる。

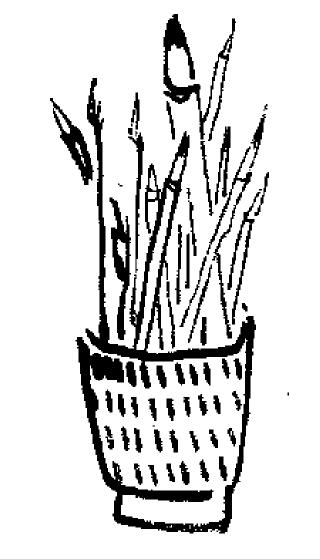
遠い昔の人間は今の人

とも自然なる生活である。 である。日出づれば起きて働き、日没すれば安臥すると云ふ、 .からみると、はるかに純情であつたやうだ。恰も幼児のやうに 自然美に富んだ作品が生れ出づるのは

当然の帰趨である。

せてくれる。 を受けながらも一人の先生に師事して学ぶ要のあつたのは、 なつてゐる。一人の師を仰ぐ要は無くなつてゐるのである。 の事である。 何を戸惑して今時の先生から芸美を学ばんとしてゐるのか。束縛 私はこの古い昔の人達の遺した作品を師と仰げと言ふのである。 活字がありとあらゆることを教へてくれる世の中と 古美術が遺つてゐる。写真製版が世界中の美術を観 過去

(昭和二十八年 原文のまま)



底本:「魯山人陶説」中公文庫、 中央公論新社

1992 (平成4) 年5月10日初版発行

2008

(平成20)年11月25日12刷発行

底本の親本:「魯山人陶説」東京書房社

1975 (昭和50) 年3月

入力:門田裕志

校正:木下聡

2019年12月27日作成

青空文庫作成ファイル:

9

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫(https://w

ww.aozora.gr.jp/)で作られました。入力、校正、

青年よ師を無数に択べ

制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

青年よ師を無数に択べ 北大路魯山人

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL http://www.aozora.gr.jp/

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL http://aozora.xisang.top/

BiliBili https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks 青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/ ※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。 http://tokimi.sylphid.jp/